

網走家畜衛生情報

令和7年度（2025年度） 第8号（7月号外③） 北海道網走家畜保健衛生所

1 日射病・熱射病に注意！

7月に入り異常な暑さが続いており、各地で暑熱被害が増加しています。被害を軽減するために飼養形態にあった適切な予防対策を取り組むとともに、家畜が体調を崩した際は、重症化する前にかかりつけの獣医師の診療を受けましょう。

【対策の一例】

- ★ 良質な飼料を涼しい時間帯に給餌（飼料の変敗に注意）
- ★ 新鮮な水とともに適正な塩分、十分な重曹の給与
- ★ 密飼いの回避、削蹄・毛刈りの実施
- ★ 送風機の使用、屋根への散水
- ★ 遮光ネットによる直射日光の遮断
- ★ 放牧時間を早朝や夜間に変更



直接風を当てると効果が高い

2 生乳への抗菌性物質残留事故に注意！

令和7年7月、今年度**3例目**の残留事故が発生しました。

【忙しいときほど慎重に！】

- ★ 治療牛を見落とさないよう、牛体へのスプレー、脚バンド、看板など、必ず2種類以上のマーキングをしましょう。
- ★ マーキングと薬剤の投与は同時に行いましょう。
- ★ ホワイトボード等を活用し作業者間の連絡を徹底しましょう。
- ★ 治療前、搾乳前には毎回どの牛が治療牛か再確認しましょう。
- ★ 治療牛はできるかぎり隔離し、ロボットでの搾乳は控えましょう。
- ★ やむを得ずロボットで搾乳する場合は、登録忘れや登録ミスがないことを複数の目で確認しましょう。